

東住吉区まちづくりビジョン

目次

I まちづくりビジョンとは

p.4

- 目的と位置づけ	6
- 策定の過程	7
- 対象区域と周辺区との連携	7

II 区の「いま」を捉える

p.8

- 区の概要	10
- 将来予測 「都市のスポンジ化」	11
- 区が抱える資源と課題	12
【住宅】 良好的な住宅ストックの充実	12
【歴史・文化】 歴史を醸す旧村のまちなみ	13
【交通】 良好的な都心アクセス	14
【農】 都心近郊の農空間の残存	16
【スポーツ】 スポーツのまちづくりの推進	17
【公園・緑地】 長居公園を中心とした公園体系	18
【生活】 地域コミュニティの機能低下	19
【防災】 大規模災害の不安	20
周辺区と共に通する課題	21
まとめ	21

III 区の「これから」を考える

p.22

- これからの社会トレンドと価値観の変化	24
ライフスタイルの変化	24
ICT の進歩	25
- めざす東住吉区での暮らし方	26
- 都市構造のイメージ	28
居住密度の考え方	28
空間整備の考え方	29
- まちづくりの実施体制	30
- ビジョンの運用方法	31

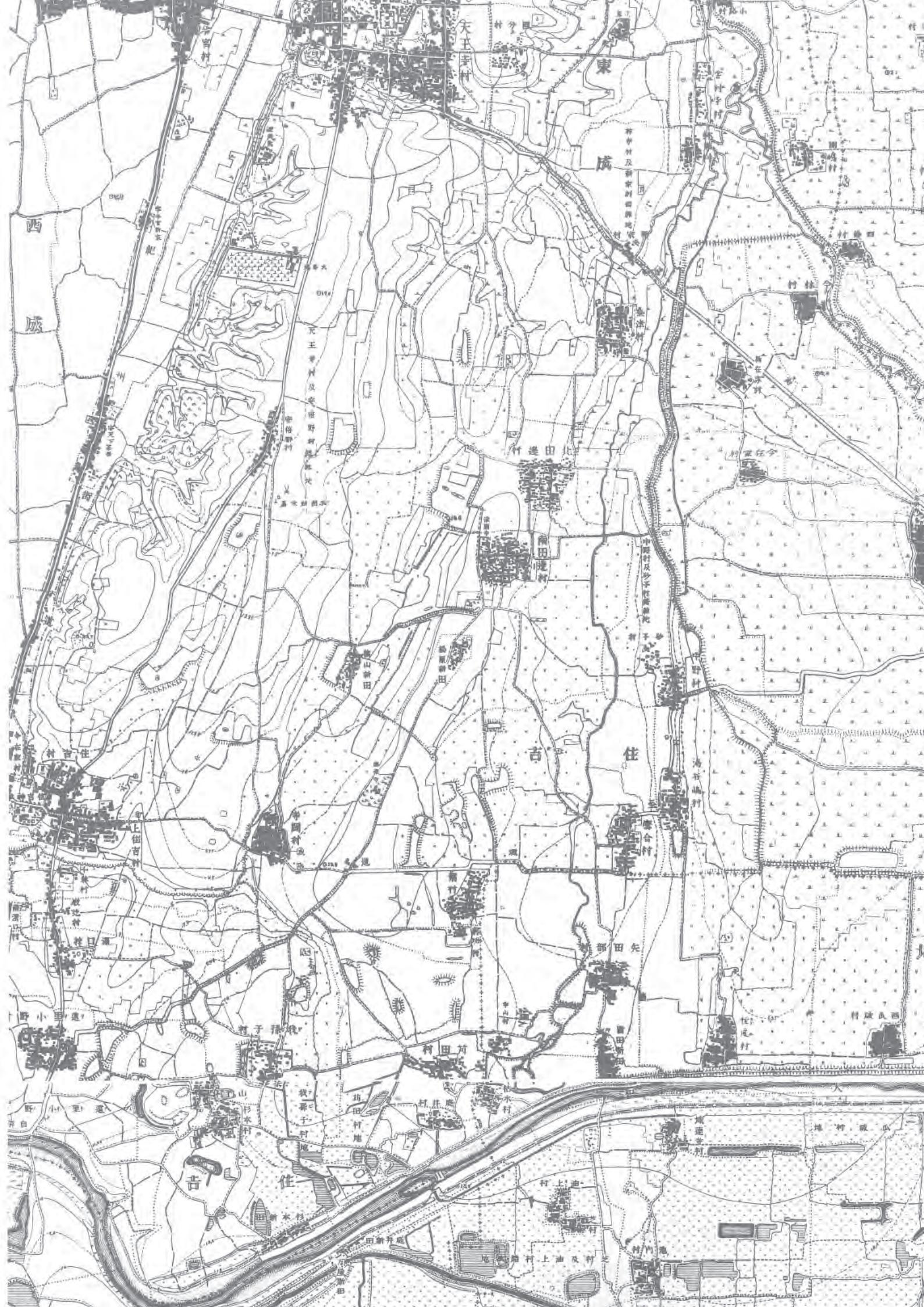
【附録】まちづくりのアイディア集

p.32

- 駅周辺・商店街への機能誘導	34
- MaaS をはじめとした交通の利便化	35
- パーソナルモビリティ利用の増進・利便化	36
- 歩行者ネットワークの形成	36
- ランドバンク等による戦略的な更新の誘導	37
- 公園をはじめとした緑地化の推進	38
- 旧村を活用したまちづくり	40
- 農空間の保全・創出と農体験の促進	41
- 多様なスポーツ機能の誘導	41
- 健康スマートシティの推進	42
- 大学と連携したまちづくりの推進	43
- 長居公園・植物園のリニューアル・活用促進	44
- 天王寺大和川線に隣接するエリアの一体的な活用	44
- 地域の顔となるモビリティの走行	44

* 脚注・参照

46





まちづくりビジョンとは

本章では、東住吉区まちづくりビジョンの目的や、位置づけ、対象区域など、まちづくりビジョンの概要について説明します。

- 目的と位置づけ
- 策定の過程
- 対象区域と周辺区との連携

目的と位置づけ

区のまちづくりの 現状

- ・東住吉区では、東住吉区地域福祉計画や東住吉区地域防災計画のほか、『東住吉区将来ビジョン』を策定し、「ニア・イズ・ベター」の考え方のもと、区長のリーダーシップにより、区の地域特性や実情に応じた施策・事業を展開し、区の特性を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

区のまちづくりの 課題

- ・しかし、道路、公園、交通ネットワーク、土地利用形態など、『将来ビジョン』の計画期間5年間では描ききれないハード面での将来的なまちづくりの方向性が定まっていません。

まちづくりビジョンの 目的

- ・そこで、『将来ビジョン』の別冊として、中長期的な視点でまちの課題を明らかにし、目標とする将来像を定め、その実現に向けた施策・事業を戦略的に展開していくための指針を、『東住吉区まちづくりビジョン』にて示します。
- ・目標年次は、おおむね20年の中長期的な見通しとして、2040年とします。

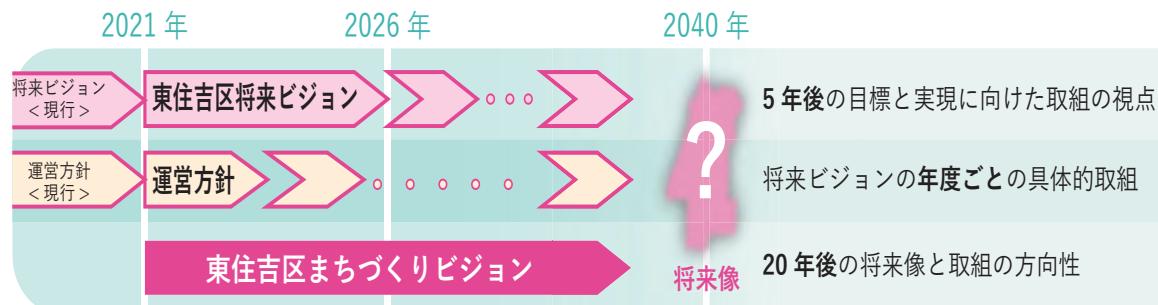
めざす将来像

子どもが輝き、みんながしあわせなまち

未来を担う子どもが夢を持って生き生きと輝き、みんながしあわせになることをめざしましょう。

将来像を実現するために、3つの目標を掲げます。
 ○みんなで子どもを育てるまち
 ○みんなが健康で安心して暮らせるまち
 ○みんながつながるまち

東住吉区将来ビジョン 2021-2025【抜粋】



本ビジョンの位置づけ

策定の過程

- ・本ビジョンの策定に先駆け、平成30年度に『地域資源の有機的連鎖性促進のための調査』を実施し、本ビジョンを策定していくうえでの基礎資料として、事例等を通じた全国的な都市を取り巻く状況の整理、区の状況や課題だし、それらの内容をふまえた区の全体像の取りまとめを行いました。
- ・また、今回のビジョンの策定にあたっては、関連する民間事業者や大阪市関連部局へのヒアリングを行い、意見交換を行っています。
- ・なお、平成30年度に策定した『矢田南部地域まちづくりビジョン』は、本ビジョンの考え方に基づくものとして位置づけます。

対象区域と周辺区との連携

- ・対象区域は東住吉区全域とします。
- ・隣接する阿倍野区・住吉区・平野区は、旧住吉区から分区するなど、周辺区は市街化の過程やこれまで辿ってきた経緯、資源や現在抱える課題に共通点があることから、周辺区と連携しながら課題の解決に取り組んでいきます。

